

# 論文を書くときのポイント — 論文審査を通して —



日本放射線技術学会副編集委員長  
久留米大学病院画像診断センター  
川田 秀道

# 事前審査で重要視するもの

1. 倫理規定の遵守
2. 個人情報情報の保護
3. 二重投稿

# 事前審査で重要視するもの

## 1. 倫理規定の遵守

投稿論文は基礎研究、応用研究のいずれにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたものであること。また、個人情報の保護のために必要な処置を講じたものであること。

日本放射線技術学会投稿規程第6条第2項

# 事前審査で重要視するもの

## 1. 倫理規定の遵守

### (a) ボランティア

- ・放射線被ばく
- ・MRIや超音波等被ばくを伴わない実験

### (b) 余分な検査

臨床では必要としないが実験の検証のために行う

実験系については細心の注意を払って計画する。

# 事前審査で重要視するもの

## 1. 倫理規定の遵守

ではボランティアに関して同意を得るだけでよいのか？

実験の妥当性、倫理的および個人情報への配慮を第三者を含めて検討される必要がある。

- 放射線部内での合意
- 上司の許可等共同研究者以外の方の承認

# 事前審査で重要視するもの

Welcome to ICRweb  
ICR臨床研究入門へようこそ!

ユーザーID:  パスワード:  ログイン  
パスワードを忘れた場合はこちら

- サイトホームへ
- ICRweb の紹介
- テーマ別講義一覧
- Glossary
- 規制・ガイドライン集
- ICR 講義開催情報
- お問い合わせ
- 募集中
- よくある質問 (FAQ)
- サイト内検索  
 検索  
検索オプション

ICRwebは、臨床研究に関する教育サイトです。医師、臨床研究コーディネーター、データマネージャーだけでなく、倫理審査委員会委員や、倫理審査委員会事務局スタッフのみならず、企業の方など臨床研究に携わるすべての人を対象としています。 **（もっと詳しく）**  
ICRwebのeラーニングコンテンツをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。

ユーザー登録はこちら 

施設でご利用をお考えの方はこちらをご覧ください 

### E-LEARNING COURSE

-  臨床研究入門 初級編
-  臨床研究入門 中級編
-  被験者保護
-  コメディカル関連
-  医師主導治験関連
-  その他の教育プログラム

[http:// www.icrweb.jp / icr /](http://www.icrweb.jp/icr/)

# 事前審査で重要視するもの

## 2. 個人情報情報の保護

### 背景

近年ではネットワーク技術の進歩により、容易に臨床画像を研究に使用することが可能になった。

# 事前審査で重要視するもの

## 2. 個人情報の保護

- ・ DICOM画像には患者情報が含まれるヘッダーが存在
- ・ 盗難、ウィルスによる個人情報流出

# 事前審査で重要視するもの

## 2. 個人情報の保護

### 匿名化

- ・ 連結匿名化  
データ(ファイル名)から個人情報の推定が可能
- ・ 非連結匿名化  
データ(ファイル名)からは全く個人情報の推定が不可能

# 事前審査で重要視するもの

## 2. 個人情報保護

### 観察者実験

- ・観察者が結果を公にすることに同意しておく必要がある。
- ・本文に同意を得た旨を記載するか別様式で編集委員会に提出

※観察実験は観察者の特性を表しているため、個人情報に該当する。

# 事前審査で重要視するもの

## 3. 二重投稿

他学会誌にすでに掲載された論文で、その著者または共著者が本学会誌に投稿した場合には、二重投稿論文と判断する。

「投稿の手引き4-3 二重投稿論文」より

ただし、新しい知見が加わった場合は新規性ありとして採用する場合もある。

# 事前審査で重要視するもの

## 二重投稿の事例

他学会誌で原著論文として掲載



本誌「臨床技術」論文として投稿



不採用

「臨床技術論文」

新しい装置、製品、試薬などの使用経験、既成の装置等における工夫、改良など臨床に役立つ情報に関する報告。オリジナリティは問わない。

# 受理できる条件

1. 投稿規程の遵守
2. 被検者(患者)の人権と個人情報への配慮
3. 新しい事実が一つ以上ある
4. 文章が平明で論旨に矛盾が無い

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

緒言

材料(対象)および方法

結果

考察

結語

本文中の目的、方法、結果に矛盾がない  
専門外の人を読んでも分かる

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

### 緒言

ここまでは過去の研究で判っている。  
しかし、この部分はまだ未研究である。

緒言の中の目的を明確にする。

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

### 材料(対象)および方法

- ・ 実験に使用した機器は、省略せず正式名称で記述する。
- ・ 読者が追試できるように記述する。

例 ～社製～を使用して～を行った。

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

### 考察

実験結果を分析し、過去の報告と対比させ、それを基にした新しい知見を導き出す。

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

### 結論

結果に考察を加えた新たな知見(事実)を手短かに記述し、得られた結果以上のことは書かない

緒言の中の目的と対応させる。

# 論文の体裁

## 1. 投稿規程の遵守

### 略語

フルスペルで書いた後で略す。

Computed tomography (CT)

2-[<sup>18</sup>F]fluoro-2-deoxy-D-glucose

positron emission tomography (FDG-PET)

## その他

### カラー図

カラー図に係る費用は、全て著者負担

1つでも20万円弱の請求がきます。

# 最後に

## 論文化への道

- ・あなたの研究を学術論文にしてみませんか  
九州部会ではそんなあなたのために、あなたの研究を学術論文にするためのお手伝いをいたします。  
担当するのは九州部会学術論文化推進委員です。  
論文にしたいけれど書き方がわからない。学会に論文を提出する前に一度みてもらいたい。など悩んでおられる方は氏名、所属施設、連絡先のメールアドレス、論文のタイトルなどを書いて、気楽にメールしてください。

メール送信先: [ronbun2008@jsrt-kyushu.org](mailto:ronbun2008@jsrt-kyushu.org)

(九州部会学術論文化推進委員会)